

市民活動支援センターは、社会に貢献しようとする市民、市民活動団体を応援します

上尾市市民活動支援センター情報誌



# むすびん

平成25年  
4月  
第8号

〒362-0075 上尾市柏座1丁目1番15号

TEL:048-778-1810 FAX:048-778-1820 E-mail:s53500@city.ageo.lg.jp

## 体験型市民農園第1号モデルの開設を目指して

### 上尾の遊休農地を考える会

平成24年度の「協働のまちづくり推進モデル事業」に採択された、遊休農地の活用策を調査研究している「上尾の遊休農地を考える会」（石川直巳代表）は、市農政課と協働で、体験型市民農園の市内開設に向けて、昨年10月に農業者を対象とした講座と先進地視察を行いました。

講座と見学会には市内の農園関係者ら約30人が参加。練馬区で全国初となる体験型市民農園を開設した、全国農業体験協会理事長の加藤義松さんが「農業体験型の運営上のポイントについて」と題して講演しました。

加藤さんによると、「体験型市民農園」は区画貸し



【講演する加藤さん】

農園と異なり、農園主自らが栽培計画を立て、入園者に野菜づくりを指導するのが特長で、新たな農業経営の形態として全国に普及し

ています。加藤さんは「安定した農業収入の確保」や「都市住民と農業者の交流」などをメリットに挙げながら、「そこで過ごす時間を楽しむことが大事」と強調しました。➤



【新座市にある体験型市民農園を見学する参加者たち】

午後からはバスに乗り、新座市にある「どうかやま農業体験塾」を見学。閑静な住宅街に囲まれた農園では、キャベツやブロッコリーなどの青々とした野菜が栽培されています。

園主の並木徹夫さんは、「農業経験がなくても失敗なく、高品質の野菜を収穫できるのが体験型市民農園の魅力」と話し、「農園主としても利用者与交流するのが楽しい」と笑顔で語っていました。

このほか、同会は「活動体験型市民農園開設ガイドブック」と「利用募集のガイドブック」を作成。開設者向け相談会も2回実施し、27年春の開設に向けて準備を進めています。

### **平成25年度も協働モデル事業募集します！**

平成25年度も協働モデル事業を実施します。事業化が決定した場合は、50万円を限度に補助金を交付します。

▼応募要件 5人以上で構成し、1年以上継続して市内で活動している団体など。

▼募集要項 4月2日から当センターで配布しています。市HPからもダウンロードできます。詳細は要項をご覧ください。

▼応募方法 応募用紙に必要事項を記入し、必要書類を添えて4月30日までに直接当センターにお持ちください。

## 多彩な市民活動、楽しく学びました

平成24年度の上尾駅前市民塾は、3月2日の「種から育てる花栽培教室 アピニアで花の街をつくろう」で終了しました。25年度も引き続き開催します。

多彩な市民活動を知ってもらおうとともに、その活動内容を楽しく学んでもらおうと24年11月から始まった上尾駅前市民塾には、定員を大きく上回る応募をいただきました。

25年度の第1期(5月～7月)の募集は終了しましたが、第2期(9月～11月)、第3期(平成26年1月～3月)も順次募集しますので奮ってご応募ください。



【上尾駅前市民塾「アピニアで花の街をつくろう」の様子】

## 交流の輪が広がりました

「上尾に『まちの映画館』をつくる会」と当センターは2月3日、2回目となる市民活動団体と市民との交流事業「みんなでつながろう 上尾」を協働事業として開催しました。

この事業は、映画を鑑賞する市民に対して、市民活動団体がイベントや活動をPRするなど、団体、市民の交流を深める事業です。↙



【ワールドカフェ方式の交流会】

今回は13団体が参加。映画「happy」の上映後には、コーヒーを飲みながら、同じテーブルの人と感想や意見を交わす「ワールドカフェ」が開かれ、交流の輪が広がっていました。

## 協働事業の成果を3団体が発表

協働のまちづくりの模範となる事業を実施する「協働のまちづくり推進モデル事業」の報告会が3月16日、市コミュニティセンターで開かれ、平成24年度に事業を行った3団体がその成果を発表しました。



【協働事業成果を発表する団体】

事業報告を行ったのは、小中学校などで自転車のマナーアップ講座などを開いた「ぐるっとサイクリング同好会」、農業者に体験型市民農園に対する理解を深めてもらう活動を展開した「上尾の遊休農地を考える会」、市民活動PRなど交流の場づくりや移動映画館事業を実施した「上尾に『まちの映画館』をつくる会」の3団体です。

発表者は、写真やアンケート結果をプロジェクターで映しながら、事業や成果を説明。約40人の来場者も熱心に耳を傾けました。最後に選考委員会の平修久委員長から、「“つながる”がひとつのキーワードだった。つながるには、相手が何を望んでいるかを考え、時間をかけながら信頼関係を築いていく必要がある。今後も地道な活動が続くことを期待したい」との講評がありました。

### 市民活動支援センター平成25年度事業計画

現在検討中のため、詳細は今後紹介します。

#### ①シニア世代地域デビュー支援事業

講演会や活動団体の紹介、交流会を実施します。

#### ②公開講座

市民活動を活性化していくための講座を開きます。

#### ③協働のまちづくり推進モデル事業

模範となる事業を募集して実施します。

#### ④上尾駅前市民塾

市民が“教え学び合う場”を定期的 to開催します。

## シリーズ 活動団体紹介



### 自分らしく安心して暮らせる地域社会を

NPO法人なごみ

「NPO法人なごみ」は、誰もが自分らしく安心して暮らせる地域社会を目指して、主に①福祉有償運送サービス②避難者支援③学習支援—の3つの事業に取り組んでいます。

「福祉有償運送サービス」は、身体的な理由などからバスや自転車などでの外出が困難になった高齢者向け送迎サービスで、通院や買い物などに利用されています。料金はタクシーのおよそ半額で、現在約160人が利用しています。



【避難者の皆さんの交流会の様子】

東日本大震災の影響で福島などから上尾市に避難している人は、現在300人以上。避難している人たちに少しでも「上尾に住んで良かった」と思ってもらえるように「ふれあい訪問P-1(ピーチ)」を結成し、交流会支援や訪問活動を行っています。

このほか「学習支援事業」として、主に小学生を対象とした無料の学習支援教室「宿題カフェろばの子の会」を、学生や社会人のボランティアの人たちと開いています。

いずれの事業もボランティアの力で成り立っています。代表理事の神田和彦さんは、「社会のために自分の時間、能力を提供する方が1人でも増えることが、より良い社会をつくることにつながっていく」と話してくれました。

NPO法人 なごみ

代表理事: 神田和彦さん

電話: 048(780)2286 メール: [ageonagomi@yahoo.co.jp](mailto:ageonagomi@yahoo.co.jp)

ボランティア募集中!

### 作る喜び、贈る楽しみ

折り鶴会

折り紙の普及と脳の活性化を目的に活動している「折り鶴会」は、上尾西地域包括支援センターで開かれた「脳の健康教室」の受講者有志により、自主グループとして平成22年に結成されました。現在の会員は10人で、会場手配や会計などを分担しています。

取材したこの日は、桃の節句が近いことから、“おひなさま”を制作していました。

日本折り紙協会会員で講師インストラクターの黒沢



【一緒に折り紙を楽しむ様子】

久代さんに教わりながら、会員たちは用意された折り紙で、練習を兼ねて試作。本作品は、家で完成させます。

会員の一人は、「覚えた折り方を他の人に教えたり、孫にプレゼントしたりすることで周りが和やかになる」と喜びややりがいを語り、「頭や指先を使うと脳のトレーニングにもつながります」と話していました。

黒沢さんは、四季折々の草花、動物などを題材に、制作物を考案。最近では、クリスマス・リースや正月向けの鶴や松などを制作しています。敬老会、イベント「ふれあい広場」などに参加して、作品の提供をしています。

折り鶴会

会長: 小穴睦子さん

電話: 048(773)7234

会員募集中!



## ポイント解説 Q&A

### Q. 定年後の地域デビューって？

A. 定年までに働いた時間数と、定年後に得る自由時間数を試算した結果があります。

\* 学校卒業から定年を迎えるまでの38年間に働いた時間数が

12時間×5日×50週×38年＝11万4,000時間

\* 定年後の自由時間数は

14時間×365日×22年＝11万2,420時間

(14時間は1日24時間から睡眠や食事等の時間を引いた自由時間。22年は60歳男性の平均余命)

なんと両者の時間数が、ほぼ同じ11万時間になっているではありませんか。

退職したらその先に、新入社員から定年まで過ごした長い長い時間と同じ時間が待っている。この時間を有意義に過ごすためにはどうしたらいいだろう…と考えますが、答えはそれほど難しくないのではないのでしょうか。

仕事社会に役割を持ち11万時間を有意義に過ごしてきたのですから、これからは地域社会に役割を持ち、地域から必要とされる存在として11万時間を過ごせばよいのです。そういった存在になるための初めの一歩が「地域デビュー」です！



## イベント ボランティア掲示板

### 神田あおいのあげお講談会

女流講談師、神田あおいさんによる講談会を開催します。

◇5月25日(土曜)午後2時開演(1時半 開場)

場所:上尾市文化センター小ホール

入場料:前売り1500円、当日2000円

前売り券は4月13日から文化センター、市コミュニティセンターで発売

問い合わせ:上尾に「まちの映画館」をつくる会の佐藤さん＝070(5545)9821

### こころの健康まつり2013

◇6月16日(日曜)午後1時から(12時開場)

場所:市文化センター大ホール

第1部:利用者やその家族による体験発表

「あなたに出会った 何かが変わった～精神障害がある人の出会いの物語」

第2部:吹奏楽チャリティコンサート

入場料:大人1100円、中学生以下700円

前売り券などの問い合わせ:あげお福祉会 後援会事務局＝048(777)2188

### 編集後記

◆「春は出会いと別れの季節」といわれます◆この春から、仕事をお辞めになって地域活動や市民活動に一步踏み出そうと思っていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか◆そんな時は、機会がありましたら市民活動支援センターにお立ち寄りください♪ (照)(枝)(麻)

皆さまからのイベント、ボランティア情報をお待ちしています!!

◎編集・発行 上尾市市民活動支援センター 

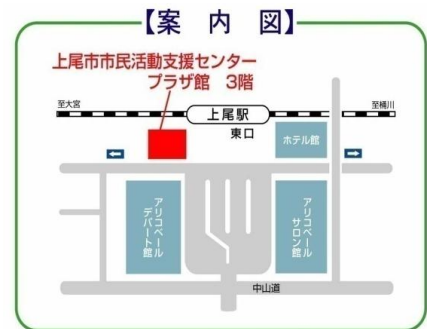
開館日:火～日 午前9時～午後9時(日曜は午後5時)まで

休館日:毎週月曜、土・日を除く祝日、年末年始

電話:048(778)1810 FAX:048(778)1820

Eメール:[s53500@city.ageo.lg.jp](mailto:s53500@city.ageo.lg.jp)

ホームページ:<http://www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s53500/>



情報誌タイトル「むすびん」は、「結ぶ」と「お便り」を合わせており、人、市民活動団体、市などを結びつきたいという思いを込めています。